

# 地域おこし協力隊活動報告書 令和6年9月分



古家のぞみ

出身：千葉県市川市  
趣味：編み物  
着任日：令和5年4月（2年目）



@NFURUYA\_08

活動内容：「解説指導員の会」と田平地区の活性化

- ①たびら昆虫自然園解説指導員の会での活動
- ②地域資源を活用したイベントなどの企画・実施
- ③田平町の情報発信（SNS）

## 園の解説案内等

夏から秋に季節が移り、昆虫の種類も変化しています。県内外から虫好きの親子連れや学校団体が多く来園され、自然について楽しく学んでいただけるように頑張りました。

夏休み後という事もあり学校団体の予約が多く入り、今月も解説指導員の方と協力して園の解説案内を中心に活動しました。9月の一般案内は38回、209名、団体を3件、39名対応しました。

学校団体での案内の際は、ナナフシ探し、カマキリを手に乗せる、池での虫すくいが児童に人気でした。カマキリを手に乗せることが怖い児童には、カマキリの足を触ってハイタッチしてみる？と声をかけるなど心理的なハードルを下げられるよう気がけました。また、9月はバッタが人気でした。足元に注目してもらい、バッタやコオロギの仲間が跳ねる様子を観察しました。ショウリョウバッタのメスは、食事や産卵のため畑を訪れます。ショウリョウバッタは土を掘る習性があり、産卵の際は土を掘ります。足の細いバッタがどのように地面を掘るかみなさんにご存じでしょうか。実は、腹の先が固くなっており、スコップのように穴を掘ることができます。来園者には指で触ってもらい、バッタの体の構造に注目していただきました。私は日頃から大人も子供も昆虫に親しみをもってもらえるようなガイドを心掛けてやっています。

ガイド中、来園者からたくさんの質問をいただきます。また、児童からは主に昆虫

について質問をいただくこともあります。「虫たちはどんな所に隠れていますか。」「カブトムシやクワガタムシについて教えてください。」などの様々な質問に私たちガイドは回答しなければいけません。そこで、今後指導員の会員が参考にできるよう、Q&Aを作成しました。まだまだ私も知らないことが多いため、勉強中ですが、随時更新していきたいと思えます。

また、今月もA3両面の解説指導員会報「虫ぶえ」の編集・発行・送付を行いました。現在指導員の会は22名の方が活動しています。そのうちガイドをしているのは、私を含めて10名です。ガイドをされていない方に向けて、解説案内を実施する際の参考になるよう、園内で新しく見られた生き物の紹介をしました。今月新しく見られた生き物はナガサキアゲハの幼虫など7種類、引き続き見られる生き物はノコギリクワガタなどの14種類を紹介しました。

## 地域おこし協力隊第1回研修会の報告



4日(水)～6日(金)五島市福江島で、NCN主催の地域おこし協力隊第1回研修会に参加しました。長崎県の地域おこし協力隊70名の内、過去最多の32名が参加しました。

研修を受けて、組織や企画の方向性における、道徳観と経済面のバランスの大切さを中心に学びました。これまでのイベントの企画の際に感じた、イベントの準備や人件費に対して収益が少なく持続可能性が低いという課題を再認識しました。

今後のイベントでは、講義の課題でもあった「道徳と経済」の視点を含めて、目的を達成しつつ収益を上げられるような企画を実施したいと考えています。

※令和6年9月1日現在の長崎県地域おこし協力隊の人数（長崎県庁ホームページより）

## 園内で新しく見られた生き物



＜ショウリョウバッタ（メス）＞

畑や花壇で見られるバッタの一種です。

オスの45mm前後の大きさに比べて、メスは75mmと体が大きいことが特徴です。オスは飛ぶときに「チキチキ」という音を出し、メスは産卵の際に地面を掘る為に、腹の先が固いという特徴がそれぞれあります。

## 今後のイベント

11月23日(土)に予定しています田平中央公民館主催の公民館講座では、講師として小学生を対象に「落ち葉でクリスマスオーナメントづくり」を実施します。詳細は10月分の活動報告書で掲示しますので、興味のある方の参加をお待ちしております。